

# 平成 27 年度 事業報告書

## 1. 事業の概要

近年の農業情勢は、農業従事者の高齢化や農業算出額の減少等、農業生産基盤の弱体化が進んでおり、T P P への参加も注目される中で、多くの課題を抱えている。

こうした情勢の中、三原村農業公社も今年で 17 年目を終え、三原村農業の発展に寄与する事を目標に各事業に取り組みました。

基幹品目である柚子栽培については、村内栽培面積 50ha を達成するために平成 22 年度より新植を行っており、平成 27 年度も 7ha を植え付け、農業公社独自で合計 28ha の新植を達成して、肥培管理に努めています。

ゆず商品の販売活動についても、「6 次産業化ネットワーク活動交付金事業」を活用し、ゆずドリンク（カート缶）をリニューアルし、販売促進を行う事ができました。

また、平成 27 年度補正予算として、内閣府が所管する「地方創生加速化交付金」の承認を受け平成 28 年 3 月末に事業費で 76,500 千円の交付（繰越 OK）を受けました。当該交付金では臨時職員の雇用確保と必要機器の整備を進める予定です。

以下項目別に概要を報告します。

## 【公益事業】

### 11：栽培実証事業（農地集積）

#### ・農地集積の推移

経営者	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
ゆず農家	1,477 a	1,477 a	1,477 a	1,477 a
農業公社	1,512 a	1,764 a	2,151 a	2,851 a
合計	2,989 a	3,241 a	3,628 a	4,328 a

- ・ 柚子の産地化に取り組み平成 27 年度は、川平郷の耕作放棄地等 3.3ha を含め、7ha の新規植栽を行う事ができ、累計で 28ha を達成する事が出来ました。

「川平郷：耕作放棄地」

「上長谷：水田農地」



### 11：栽培実証事業（研修生受入）

- ・ 平成 27 年 11 月 28 日には農業担い手育成センターから 25 名の研修を受け入れましたが、研修生確保には至っておりません。
- ・ 平成 28 年度は研修生を増加すべく、「農業担い手育成センター」と「農業大学校」の生徒に対して情報提供する協議を進めています。

## 12：菜園リース

- ・トマト栽培施設事業については、安定的な雇用の確保と収益を上げる事ができました。

項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	備考
リース料金	36,257 千円	36,257 千円	36,257 千円	
修繕経費	88 千円	3,303 千円	6,578 千円	
農業振興経費	16,000 千円	16,000 千円	16,000 千円	
積立金	20,169 千円	16,954 千円	13,679 千円	

## 21：水稻播種

項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	備考
利用者	115 人	109 人	100 人	
播種枚数	27,000 枚	28,000 枚	26,000 枚	

- ・水稻の播種センター利用について、平成 27 年度は延べ 100 名の方に利用頂き、26,000 枚の播種で（約 125ha/270ha=46%）の実績を上げることが出来ました。

「水稻の播種作業」



## 22：農作業受託

項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	備考
利用者	20 人	19 人	31 人	

- ・農業機械利用事業・農作業受託事業について、平成 27 年度はブロッコリーを中心とした支援を行い、村内 15 名、村外 16 名の作業受託を行いました。



## 【収益事業】

### 41：加工品販売

項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	備考
ドリンク販売数	43,800 本	28,300 本	24,600 本	

- ・従来のゆずジュース「ペットボトル」から、木材原料のゆずドリンク「カート缶」にリニューアルする事で原価を下げ、賞味期限を6ヶ月から10ヶ月に延長する事ができました。
- ・三原村ご当地販売価格として、税込み100円で販売中です。
- ・平成28年度はゆずドリンクを9万本製造し、販売戦略を立てて販売を促進しています。

「リニューアル後の商品」



「リニューアル前の商品」



### 42：柚子青果販売

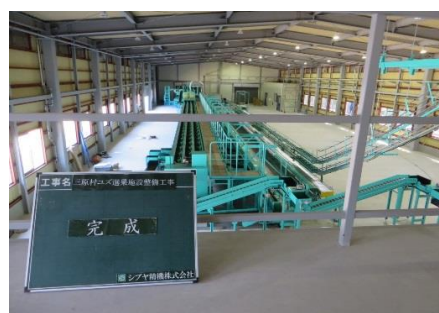
項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	備考
柚子販売金額	15,598 千円	15,575 千円	24,618 千円	

- ・従来の手選果作業を解消すべく、自動選果機械の導入を行いました。

「選果・搾汁・加工施設」



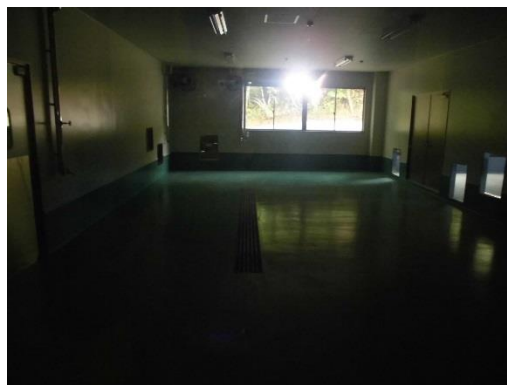
「選果機械」



※平成28年度の収穫から稼動予定。

- ・搾汁施設は、平成 28 年度の収穫までに整備予定

「搾汁施設設置ルーム」



※搾汁機械の整備は平成 28 年 9 月末完成を目指します。

- ・加工施設は、平成 28 年度中に整備完了予定

「加工施設：整備中」



「導入済機器」



※未導入機器は早急に整備予定。

## 2. 法人管理業務

### 理事会・評議員会等の開催

項 目	開 催 日	議案など
第 1 回臨時評議員会	平成 27 年 4 月 15 日	任期満了に伴う理事の選任 その他
第 2 回臨時評議員会	平成 27 年 5 月 20 日	専務理事の退職に伴う慰労金支給 その他
第 1 回臨時理事会	平成 27 年 5 月 25 日	平成 26 年度事業報告について 平成 26 年度収支決算の承認について 役員を選任について
第 3 回定例評議員会	平成 27 年 6 月 11 日	平成 26 年度事業報告について 平成 26 年度収支決算の承認について
第 4 回臨時評議員会	平成 28 年 2 月 25 日	定款変更に関する件について 理事の選任について 監事の選任について 評議員の選任について 役員報酬規程の一部変更について
第 2 回理事会	平成 28 年 2 月 25 日	理事の役職に関する件について 事業区分の変更と変更認定承認申請に関する件について 平成 28 年度事業計画書の承認について 平成 28 年度収支予算書の承認について 平成 28 年度資金調達及び設備投資の見込みに関する件について

○顧問公認会計士・眞鍋清氏、顧問税理士・西森博氏による年数回の電話・出張指導

○職員研修「公益法人の運営実務」H27.12.18：高知市

「公益法人を対象とする研修会」H28.1.18：高知市

## 3. 公益財団職員の状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

正職員 4 名

総務課長 1 名・工場長 1 名・肥培管理班長 1 名・販売担当 1 名

嘱託 1 名

常勤雇用 19 名

研修生 1 名

合計 25 名

#### 4. 公益財団役員 の 状況

公益財団法人（平成 28 年 3 月 31 日現在）

役 員	氏 名
理事長	藤本 節雄
副理事長（理事）	高添 信行
業務執行理事（理事）	池上 和宏
理事	津野 寿雄
理事	森本 勝重
理事	矢野 憲三
理事	宮崎 俊雄
監事	武内 可一
監事	眞鍋 清
評議員	斉藤 元紀
評議員	菊田 恵介
評議員	田野 正利
評議員	小神田 肇

平成 27 年度中の異動

（1）平成 28 年 2 月 25 日退任役員

理 事 : 田野正利、中平直明

監 事 : 矢野憲三

評議員 : 安澤正富、西村敏男

（2）平成 28 年 2 月 25 日選任役員

理 事 : 宮崎俊雄、矢野憲三、高添信行、池上和宏

監 事 : 眞鍋清

評議員 : 田野正利、小神田肇